

第70回「文化財防火デー」防火訓練の実施について

1. 目的

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。

その後、文化財保護思想の強化徹底を図るために普及啓発事業が行われるようになりました。その一環として、法隆寺金堂の焼損した日であること、1月と2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることから、昭和30年に、当時の文化財保護委員会（現在の文化庁）と国家消防本部（現在の消防庁）が1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図ることとなりました。近年、多くの災害の発生や、世界遺産である首里城の焼失など、文化財が失われる事態が増加しております。文化財を火災や震災、その他の災害から守るための活動が注目されており、文化財を地域で守り、文化財を愛護する意識を高めるため、豊後国分寺跡史跡公園で防火訓練を実施します。

2. 日時

令和6年1月26日（金） 午後1時30分～2時30分

*小雨、小雪は実施。中止の場合、午後1時に決定

3. 訓練想定

原因不明の火災が、豊後国分寺跡史跡公園で発生し、大分市歴史資料館に延焼の恐れがある。

4. 参加機関

- ・大分市消防局
 - ・大分市教育委員会
 - ・大分市南消防署
 - ・大分市消防団（賀来分団）
- 担当主管課 大分市教育委員会文化財課（歴史資料館）

国指定史跡「豊後国分寺跡」

（ぶんごこくぶんじあと）

指定 昭和8年2月28日

大分川左岸の台地上に位置しており、江戸中期に建てられた薬師堂（金堂跡）・観音堂（塔跡）・鐘楼堂などがあります。8世紀当時の遺構は昭和49年（1974）以来の発掘調査などにより、全国的に見ても屈指の規模をもつ東西182m、南北270mに及ぶ広大な寺域や主要伽藍の規模が明らかになりました。塔跡は巨大な心礎、礎石9個がほぼ原位置を保っており、その規模などから最高67.3mの七重塔と推測されています。

現在、史跡公園として整備されています。



豊後国分寺跡史跡公園と大分市歴史資料館

担当

大分市教育委員会文化財課（歴史資料館）

指原

TEL 097-549-0880

「文化財防火デー」について

大分市の実績

- 第44回 毛利空桑記念館（県指定史跡 毛利空桑旧宅及び塾跡）
- 第45回 金剛宝戒寺（国指定重要文化財 木造大日如来坐像）
- 第46回 西寒多神社（市指定有形文化財 神庫）
- 第47回 柞原八幡宮（国指定重要文化財 銅造仏像 他）
- 第48回 毛利空桑記念館（県指定史跡 毛利空桑旧宅及び塾跡）
- 第49回 西寒多神社（市指定有形文化財 神庫）
- 第50回 金剛宝戒寺（国指定重要文化財 木造大日如来坐像）
- 第51回 毛利空桑記念館（県指定史跡 毛利空桑旧宅及び塾跡）
- 第52回 帆足本家酒造蔵（市指定有形文化財）
- 第53回 柞原八幡宮（国指定重要文化財 銅造仏像 他）
- 第54回 早吸日女神社（県指定有形文化財 本殿 総門 他）
- 第55回 後藤家住宅（国指定重要文化財）
- 第56回 大山寺（国指定重要文化財 普賢菩薩坐像 他）
- 第57回 西寒多神社（市指定有形文化財 神庫）
- 第58回 毛利空桑記念館（県指定史跡 毛利空桑旧宅及び塾跡）
- 第59回 金剛宝戒寺（国指定重要文化財 木造大日如来坐像）
- 第60回 教尊寺（県指定有形文化財 教尊寺七棟）
- 第61回 霊山寺（市指定有形文化財 霊山寺山門）※雨天のため中止
- 第62回 柞原八幡宮（国指定重要文化財 柞原八幡宮 10棟ほか）
- 第63回 亀塚古墳公園（国指定史跡亀塚古墳）
- 第64回 霊山寺（市指定有形文化財 霊山寺山門）
- 第65回 柞原八幡宮（国指定重要文化財 柞原八幡宮 10棟ほか）
- 第66回 毛利空桑記念館（県指定史跡 毛利空桑旧宅及び塾跡）
- 第67回 豊後国分寺跡史跡公園（国指定史跡豊後国分寺跡）※雨天のため中止
- 第68回 金剛宝戒寺（国指定重要文化財 木造大日如来坐像）
- ※新型コロナ感染拡大を受け中止
- 第69回 毛利空桑記念館（国指定史跡亀塚古墳）